

消費動向調査（平成 29 年 10 月実施分）
調査結果の要点

- ① 平成 29 年 10 月の消費者態度指数（二人以上の世帯、季節調整値）は、9 月の 43.9 から 0.6 ポイント上昇して 44.5 となり、2 か月連続で前月を上回った。消費者態度指数を構成する 4 項目全てが前月から上昇した。
- ② 消費者態度指数の動きから見た 10 月の消費者マインドの基調判断は、**持ち直している**。（上方修正、前月：ほぼ横ばいとなっている。）

消費者態度指数（二人以上の世帯）の推移

		季節調整値	（前月差）
平成 29 年	8 月調査	43.3	（▲0.5）
	9 月調査	43.9	（0.6）
	10 月調査	44.5	（0.6）

※過去平均（昭和 57 年 6 月～平成 29 年 10 月）は 42.2。

- ③ 平成 29 年 10 月の 1 年後の物価に関する見通し（二人以上の世帯）は、「上昇する」が 3 か月連続で前月から増加、「低下する」が 2 か月ぶりに前月から減少、「変わらない」が前月と横ばいだった。
- 消費者の物価予想については、**「上昇する」と見込む割合が高水準である**。
（据置き、前月から表現の変更なし。）

1 年後の物価の見通し（二人以上の世帯、原数値）（単位：％）

		低下する	変わらない	上昇する	分からない
平成 29 年	8 月調査	3.5	17.3	76.1	3.0
	9 月調査	4.9	15.8	76.2	3.1
	10 月調査	3.7	15.8	77.5	3.0

※「上昇する」と見込む割合の過去平均（平成 16 年 4 月～平成 29 年 10 月）は 65.8%。
「低下する」と見込む割合の過去平均（同）は 7.0%。